

登録コード	E2572900	開講年度	2026			
授業科目	美術史・美術理論演習				担当教員	小野 文子
英文授業名	Theory of Art				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生
講義室	教育N204講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				「美術史・美術理論基礎」での学びを発展させ、興味関心を美術史・美術理論の研究方法に則って発展させていくことができるようになる。また、ディスカッションを行うことで、他者との意見交換により自分自身の学びを深めていくことができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				「美術史・美術理論基礎」での学びを発展させ、興味関心を美術史・美術理論の研究方法に則って発展させていくことができるようになる。また、ディスカッションを行うことで、他者との意見交換により自分自身の学びを深めていくことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	受講者が選んだ作品、作者、テーマについて調べ、発表する。また、発表後にはディスカッションを行い、知識や問題意識を共有することにより、各自の研究テーマ掘り下げの参考とする。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：美学 第3回：芸術学 第4回：プレゼンテーションの手順の説明 第5回：プレゼンテーションのデモンストレーション 第6回：発表とディスカッション 1 第7回：発表とディスカッション 2 第6回：発表とディスカッション 3 第7回：発表とディスカッション 4 第8回：発表とディスカッション 5 第9回：発表とディスカッション 6 第10回：発表とディスカッション 7 第11回：発表とディスカッション 8 第12回：発表とディスカッション 9 第13回：発表とディスカッション 10 第14回：まとめ（授業アンケート）					
(6)成績評価の方法	発表、ディスカッションへの参加、レポート 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	事前事後の学習については、自ら学ぶべき課題を設定し、資料収集やその整理、読解、分析を行うこと。					
(9)履修上の注意						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	oayako@shinshu-u.ac.jpに連絡のこと。					
【教科書】	使用しない。					
【参考文献】	授業中に紹介する。					